

## 第6回全国自給飼料生産コンクール受賞者の概要について

令和2年3月4日  
一般社団法人日本草地畜産種子協会

## 1 趣旨

全国自給飼料生産コンクールは、飼料基盤に立脚した畜産を推進するため、自給飼料の効率的な生産及び利用技術並びに放牧等の環境に調和した持続的な生産・経営方式等優秀な事例を全国から選定・表彰し、これを広く紹介することにより、畜産経営における飼料基盤の重要性を啓発し、畜産農家の経営の安定に資するものです。

## 2 選賞

第6回全国自給飼料生産コンクールは厳正な審査の結果、次のとおり農林水産大臣賞1点、農林水産省生産局長賞3点を選賞しました。

受賞名	出品財名		受賞者名
農林水産大臣賞	放牧部門	畜産経営体・酪農 北海道 枝幸町	いしだ ゆきや 石田 幸也 いしだ みゆき 石田 美由紀
農林水産省 生産局長賞	飼料生産部門	永年牧草 の部 畜産経営体・酪農 北海道 池田町	(有)ハッピーネス ホルスタインズ 取締役 しまき じゆん 嶋木 潤
	飼料生産部門	飼料作物 の部(単年 生の飼料 作物) 飼料生産受託組織 鹿児島県 肝付町	(株)きもつき 肝付アグリ
	放牧部門	畜産経営体・ 肉用牛繁殖・肥育 熊本県 産山村	い ひろあき 井 博明

## 3 表彰

農林水産大臣賞状（1点）、農林水産省生産局長賞状（3点）及びカップを授与するとともに、副賞を贈ります。

副賞は、県・独立行政法人等公的機関で育成された品種を中心として日本草地畜産種子協会が取り扱う優良品種のうちから受賞者の皆様方の地域に適した牧草・飼料作物・飼料稲の種子（5万円相当）です。

#### 4 受賞事例の概要

##### 【農林水産大臣賞】

石田 幸也、石田 美由紀（北海道枝幸町） [酪農経営]

北海道枝幸町の石田牧場は、成牛の飼料給与は放牧中心の濃厚飼料を給与しない体系で、家畜飼養頭数 50 頭(成牛)の家族酪農経営です。

75ha の放牧専用地、採草放牧兼用地、採草地を無化学肥料で管理し、放牧地は大牧区方式で利用するとともに、放牧に適したペレニアルライグラス主体の放牧地へ改良しています。

また、成牛の飼料は全て放牧と自給のラップサイレージでまかなうことにより、生乳の生産コストは 30 円台、経営全体の乳飼比は驚異の 2%、所得率は 68%を達成しています。

これらは世界一低コストで知られるニュージーランド酪農に匹敵する値となっています。

##### 【農林水産省生産局長賞】

(有)ハッピーネス ホルスタインズ 取締役 嶋木 潤（北海道池田町） [酪農経営]

北海道池田町の(有)ハッピーネス ホルスタインズは、粗飼料自給率 100%を達成した酪農経営です。

この地域では、近年、台風等の被害が増えているため、嶋木さんはその対策として大型作業機の導入による収穫作業の効率化を図り、周辺農家の収穫作業を受託する緊急コントラクターとして地域の畜産経営の維持に貢献しています。

(株)肝付アグリ（鹿児島県肝付町） [飼料生産受託組織]

鹿児島県肝付町の(株)肝付アグリは、地域の水稲農家及び甘藷（さつまいも）農家と連携し、地域の耕作されていない農地を利用しつつ、延べ 300ha の面積で飼料作物の播種から収穫までを担い、地域内 TMRセンターへラップサイレージを供給しています。

また、牛ふん堆肥や養豚堆肥を活用した土づくりを行うことで資源循環にも取り組み、アグリノート（ほ場管理集約システム）を活用して作業の効率化や適期収穫を実施しており、地域農業を維持する中核的存在となっています。

井 博明（熊本県産山村） [肉用牛繁殖・肥育経営]

熊本県産山村の井さんは、数少なくなったあか牛(褐毛和種)飼養農家で、牛を夏山・冬里方式で飼養し、自給飼料主体による繁殖・肥育経営を行っています。

草地は自己有地の 8ha に加え、入会地(共同牧野)の 215ha を近隣畜産農家と共同で管理し、世界農業遺産に認定された阿蘇・九重山麓の草資源を護りながら飼料の収穫作業等を行っています。

また、農家民宿やレストランの経営を行うなど、6次産業化の取り組みによる中山間地域の振興を図っています。